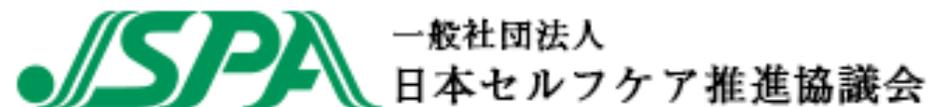


日本セルフケア推進協議会の歩み、そしてこれから・・・

～開会にあたって～



代表理事(会長) 三輪芳弘

コロナ禍が突き付けた問題

COVID-19

**日常的な予防・健康づくりの
重要性を再認識**

**皆保険制度の根幹をなす
フリーアクセスのほころび**

セルフケア推進

セルフケアのアプローチ

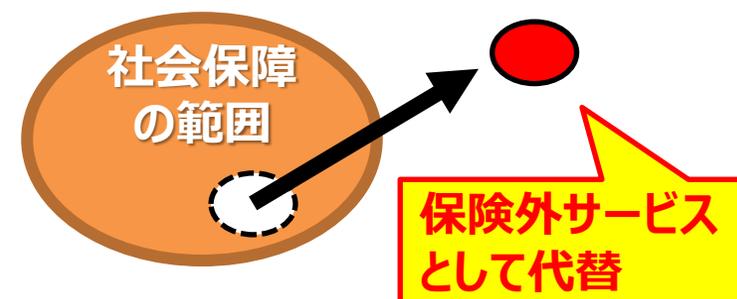
セルフケアのアプローチは必ずしも1つではありませんが、生活者の健康寿命延伸や生活の満足度 & 生活の質向上を起点として考える必要があります。



生活者の疾病発症、重症化を予防または遅らせることで、健康寿命を延伸し、結果として社会保障のニーズを軽減する



社会保障がカバーできない生活習慣や衣食住などの製品やサービスを活用し、患者・生活者の生活の満足度 & 質を高める



既に提供されている医療保険等の社会保障サービスの一部を代替し、主に国や保険者の社会保障費のコストを軽減する

セルフケアへの期待

セルフケアは、日常生活、未病の段階から生活者を支援し、健康寿命を延伸させることを通じて、結果として医療費や介護費の抑制効果が発揮されると期待されています。

- 「自らが健康に関する関心を持ち、そして正しく理解し、病気などの予防や健康づくりをすること」 厚生労働省の資料からの要約
- 日常生活、未病の段階から生活者を支援することが可能で、疾患予防効果が期待されている
- 食事、睡眠、運動など多様なサービスが開発され普及し始めており、疾病発症予防や健康寿命の延伸への貢献が期待されている（結果として医療費・介護費への好影響）

What's JSPA?

設立の精神

企業や産業界の理屈ではなく、生活者を真ん中において社会全体を最適化していくにはどうすべきか、垣根を越えてみんなで議論したかった。

目指す理想

生活者が自身の健康に不安があるとき、保険診療も含め多様な選択肢からその人、その時、その状態に最も適した行動選択ができる社会の実現。

- 買い手、良し
- 売り手、良し
- 世間、良し

三方良し

- 生活者・患者
- 産業界・医療界
- 社会保障